

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2016. 1 第42号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

| | |
|-----------------|---------|
| 会 長 | 五十嵐 治 美 |
| 千葉県知事 | 森 田 健 作 |
| 千葉県県土整備部営繕課 課長 | 作 田 重 学 |
| (一社)日本電設工業協会 会長 | 山 口 |

● 1年を振り返って

- ・第53回通常総会・懇親会
- ・平成27年度地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

電気工事コンテスト兼高校生ものづくりコンテストの審査員を経験して
浦安電設(株) 檀ノ原 潤

バイクに乗ってきた自分を振り返って
(株)後藤電設 後藤 芳

私のご近所自慢、アンデルセン公園
(株)高橋電設 高橋 幸一郎

中小企業でのインターンシップ
共立電設(株) 植草 宏介

● 新入賛助会員紹介

岡田電気産業(株) ヤマト電機(株)

● 賛助会員紹介 (盤及び機器メーカー部門、照明部門 計6社)

- 会 員 消 息
- 会 務 報 告
- 総 会 日 程 案 内
- 協 会 役 員
- 組 織 表
- 会 員 名 簿 記
- 編 集 後 記



(表紙等の写真) レストラン列車・大多喜町

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

みなさま、あけましておめでとうございます。

2016年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より関係各位並びに会員の皆様方には、協会活動への一方ならぬご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年景気は当初緩やかに回復基調が続いていたのですが、個人消費や企業の設備投資が力強さを欠き、また中国経済の減速が表面化したことで停滞感が広まり、結局足踏み状態の1年でした。また政府が次に提唱する3本の矢のひとつ、「希望を生み出す強い経済」GDP600兆円への目標には施策が具体化されておらず実効性には疑問の声も上がっております。

建設業はバブル崩壊以来暗いトンネルを20年にも渡り抜けられない状況が続いております。10年程前までは国は建設人口を減らそうと、特に地方においては建設業からの転職を促すマニュアルを作成し、農業、林業に参入した建設会社もありました。その後与党民主党政権の時代では「コンクリートから人へ」の方針が掲げられ、「公共事業は悪」と位置づけられてしまいました。しかし、東日本大震災が及ぼした甚大な被害より、これに係る復興事業や耐震化、老朽化対策、インフラの維持管理などが急がれ、その後我々建設に携わる者がその担い手として、果たすべき役割が増大してきています。

一方、時代は少子高齢化に向かっており、全国の就労人口が減少に転じ始めており、同時にベテランの技能労働者は引退の時期を迎え、若年入職者は労働環境の良い職種に偏り、建設業界への志望者は激減しております。また、建設業の経営は建設投資の減少や過当競争によるダンピング受注などから経営環境が悪化し、「若手に魅力ある職場」を提供できないほど疲弊している状態です。

そのような状況の中、昨年4月からいわゆる「担い手3法」が本格運用されました。まさに「担い手の確保と育成」がこの法律の目的としてうたわれています。そのためには公

共工事を施工する業者が適正な利潤を構築できるような内容が具体的に盛り込まれています。

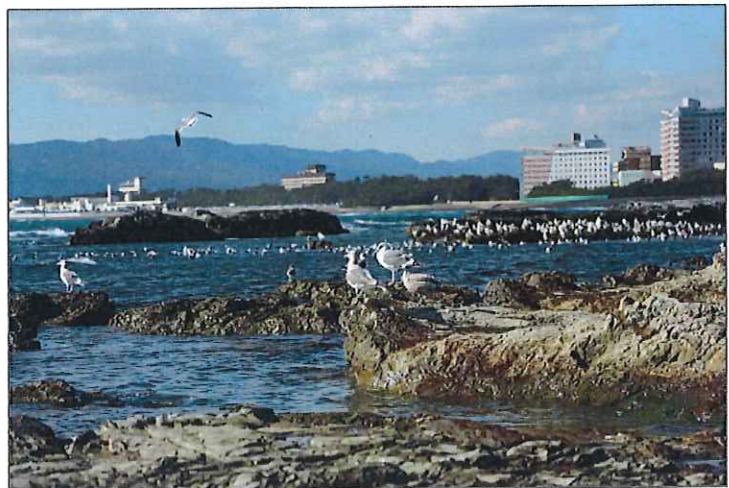
適正な予定価格設定のための「歩切りの根絶」「最低制限価格制度の設定」設計変更などを発注者が適正に実施することや、年度末に仕事が集中しないよう「発注・施工時期の平準化」「適正な工期の設定」、そして担い手確保・育成で一番大事なのは建設技能者の処遇改善を目指す「社会保険未加入対策」「ダンピング受注による下請け業者へのしわ寄せ防止策」が重要視されています。特に千葉県は社会保険未加入企業数が全国最下位となっており、改善の兆しが見えることを期待いたします。

また今年是我们電気業界に期待すべきニュースがあります。それは、省エネ対策の一環として政府は2020年度を目途に白熱灯と蛍光灯について国内での製造と国外からの輸入を禁止する省エネ法の政令を改めることとなります。具体的には、2030年度までに照明のほぼ100%をLEDにする目標を掲げるとのことです。公共施設、ビル、工場などすべての建物と各家庭の照明器具までもが切替えられることとなります。現在も街路灯や道路照明が目まぐるしくLED化されておりますが、屋内照明にまでとなると交換作業には10年以上にも及ぶに違いありません。当協会も自然エネルギーや省エネに関する事業を行政に対し提案して参りましたが、引き続き公共施設のLED照明の導入に力を入れていき、リースによる発注や他業種に侵犯されないよう監視していかねばなりません。

協会員の皆様もまだまだ厳しい経営環境に置かれておりますが、会員企業の繁栄と継続、安心安全な暮らしを第一とし、引き続き「協会員の優先指名」の陳情活動、県内工業高校を中心とした就労支援、技術の研鑽、経営の安定のための情報提供を行って参ります。

今年4月からは家庭などに向けた電力小売りが全面自由化されます。日本の電力供給体系が大きく変わり、国民は電気料金に対し選択権を得ることになり、厳しい価格競争の時代がやってきます。小売り電気事業者の異業種からの参入などにより、私たちの営業活動も少なからず影響があるかもしれません。

最後になりましたが、本年が皆様と皆様の御家族にとって健康で幸せな一年となりますことを祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。今後とも協会運営に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田 健作



明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から技術の研鑽、品質の向上、安全性の確保等に取り組み、本県の電気業界の発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県では、昨年10月に「千葉県人口ビジョン」と「千葉県地方創生『総合戦略』」を策定し、本県の持つ様々な「ポテンシャル」や「宝」を最大限に活用した、オール千葉体制による地方創生を実現します。

また、幕張メッセで7競技の開催が決定した2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、競技会場や周辺環境整備、本県での開催競技の普及イベント等による機運の醸成、キャンプ受入体制の整備などを進めてまいります。

10月23日には、「ちばアクアラインマラソン2016」を開催します。「千葉にまた来たい!」とと思っていただけるよう、日本一のおもてなしでお迎えします。

農林水産業における県内産地の連携による競争力強化や、県経済の活性化に向けた中小企業への各種支援策の推進、工業団地の整備、成長産業の振興などに取り組みます。

成田国際空港については、今後も更なる機能強化が求められていることから、国、地元市町村及び成田国際空港株式会社との連携・協力を推進してまいります。さらに、圏央道の大栄～横芝間の開通や北千葉道路の整備についても国と共同で取組を進めます。

今年3月で東日本大震災の発生から丸5年となります。震災の教訓を忘れず、災害に強い千葉県づくりに努めます。

また、依然として後を絶たない「電話 de 詐欺」や悪質商法の被害の撲滅に向け、県警、市町村、関係団体等と連携して対策を進めるとともに、防犯ボックスを核とした地域防犯力の向上にも取り組みます。

少子高齢化が急速に進行する中、保育所の整備や認知症対策、地域で支え合う体制づく

りなど各種施策の充実を図るとともに、目指すべき医療提供体制を示す「地域医療構想」の策定や、医師・看護師の養成、確保など質の高い医療・介護サービスを受けられる体制の構築を図ります。また、子どもたちの「強く美しく元気な心」を育むため、昨年策定した「千葉県の教育の振興に関する大綱」を踏まえ、「教育立県ちば」の実現を目指します。

本年も、千葉の未来を担う子どもたちや孫たちのために、首都圏、そして日本をリードする「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、貴協会の皆様には、引き続き御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

作田 重



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、千葉県の営繕行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

千葉県が整備を行う公共建築物は、様々な行政サービスを提供する拠点として、また、県民の皆さまの貴重な財産として、地域や環境と調和した、優れた品質の施設とすることが必要です。さらに、近年は機能性、安全性などの基本的性能に加えて、長寿命で環境に優しくランニングコストも低いなど、より高い性能が求められています。

昨年6月に承認された東京オリンピックの3競技に加え、11月にはパラリンピックの4競技も幕張メッセで開催されることが決定し、2020年の開催に向け、競技会場や周辺施設について競技の開催にふさわしい施設として整備する計画を策定するとともに、既存の施設につきましても、より機能的で高性能な施設にリノベーションすることが求められています。

建築電気設備では、省エネルギーを実践する代表的な器具として、LED照明を採用し、人感センサーやタスク照明等により効率的なエネルギー消費を実践することや、より高効率な機器を導入し、太陽光発電設備と蓄電池設備を設置するなど、環境や防災対応に配慮した設計を進めていく必要があります。

このような設備は、技術の進歩が速く常に最新の施工技術を身につける必要があるとともに、専門性と経験に基づく基本技術とを併せ持つ必要があることから、多くの専門技術者を擁し、豊富な経験を有する会員の皆さまの御協力が重要です。今後も最新技術の習得と後継者の育成につきましても御尽力いただけるよう期待しています。

また、災害復旧・復興工事や、社会資本整備等、建設工事の急激な増加による建設費の高騰につきまして、千葉県では、労務費及び資材単価の改正を迅速に行い、工事実施上の工程・施工に係る問題の調整につきましても適宜行います。

なお、工事発注につきましては、技術的内容を考慮した、専門工事毎の分離発注として、会員の皆様の技術力が発揮していただける環境を整備しています。

国土交通省では、公共建築工事の円滑な施工確保対策として、営繕積算方式の普及促進を図っています。「営繕積算方式」活用マニュアル等の整備も行われております。千葉県でも資料等を活用し、発注者、受注者相互の理解を深め、円滑な施工の確保に向けて努力していきます。御協力をお願いします。

会員の皆様におかれましては、電気設備業界のリーダーとして、千葉県の営繕行政に御協力いただけるとともに、県民生活の安全の確保と公共福祉の増進、さらには、地域振興に御尽力いただけることを期待しております。

結びに、新たな年が千葉県の将来にとって希望の年となることを祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会の更なる御発展と会員の皆様の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、改正品確法の運用指針に、設備工事における「分離発注」の活用が明記されました。電設業界が抱える諸課題の解決に大きく寄与するものと高く評価します。

当協会は、アクションプランに基づき、「夢と生きがいのある電設業界」を目指して事業展開を進めます。

(1) 若年層の入職促進の仕組みづくりに取り組むとともに、登録基幹技能者の処遇改善の具体化と適正評価の推進や、社会保険加入促進による労働環境の改善を図ります。

また、大手会員企業の教育・研修施設を活用し都道府県協会が実施する「実技講習会」を全国9支部12施設で展開し、業界全体で技術・技能のレベルアップを図ります。

中・長期的視点では、高齢化と若年入職者の減少による人材不足に対応して外国人技能労働者を活用する道を拓くとともに、海外電気設備工事の品質向上への貢献を目指し、外国人技能実習制度の対象職種に「電工」を追加する事を検討します。

(2) 工期の終盤を担う電気設備工事は工程遅れのしわ寄せを受けやすく、品質管理や安全面への影響が懸念されます。工程遅れの一要因である「設計図書の不備」に関する課題と対応策を整理し、設計図書の精度向上を目指します。

また、需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、受電時の完成度が不十分な工事が増加しています。「電設協版 保安規程」と「工事出来高チェックシート」を会員企業の現場で活用し、適正な受電時期設定のためのチェック体制の確立を目指します。

(3) 品質とコストの関係が透明かつ明確で改正品確法の理念にも適った分離発注の一層の浸透を目指し、「分離発注促進キャンペーン」を展開するとともに、分離発注の優位性について提案力の強化を図ります。

(4) 電力の安定供給は国民生活の重要な基盤です。再生可能エネルギーの施工や系統連系等の技術的課題の検討を通じて、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応するとともに、電力システム改革の方向性を見据えた新しいビジネスモデルのあり方を検討します。

これらの重点目標の達成に向け、本部・支部及び都道府県協会が手を携え、更には関係機関・団体との連携を強化して参ります。

結びに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第53回通常総会

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|---|--|
| 平成27年 5月22日 オークラ千葉ホテル | 第53回通常総会 ・第1号議案 平成26年度事業報告について ・第2号議案 平成26年度収支決算について ・第3号議案 会費改定(案)の承認について ・第4号議案 平成27年度事業計画について ・第5号議案 平成27年度収支予算について | 出席 52人 書 面 35人 委任状 19人 計 106人 |

第53回通常総会懇親会

| 開催日時、場 所 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 平成27年 5月22日 オークラ千葉ホテル | 来賓 22名 会員 48名 賛助 20名 計 90名 |



地区別会員交流会

| 地区別 | 開催日 | 会場 | 出席者 |
|---------------|----------|------------|------------|
| 千葉・市原地区 | 8月 7日(金) | オークラ千葉ホテル | 地区会員14社19名 |
| 東葛・葛南地区 | 8月27日(木) | ザ・クレストホテル柏 | 地区会員25社28名 |
| 北総・東総・山武・長生地区 | 8月 7日(金) | 割烹 寿茂登 | 地区会員 9社 9名 |
| 夷隅・安房・君津地区 | 8月20日(木) | 鴨川館 | 地区会員17社17名 |



三県連絡会議

| 開催日時、場所 | 内容 | 出席者数 |
|---------------------------|---|-----------------------------|
| 平成27年 11月20日 東京電業会館 | (千葉県からの提出議題) ・労務賃金の引き上げについて ・電工及び人材不足の実情について ・公共工事における技術提案等の活動状況について | 千葉県 5名 神奈川県 4名 埼玉県 5名 |



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 備 考 |
|---------------------|---|--------------------------|---------------------------|
| 8月29日 高度ポリテクセンター | ・関東甲信越地区電気工事 コンテスト審査員派遣 (関東大会) | 総務・企画委員 6名 技術・人材委員 2名 | 4/22 事前打合せ 7/6 事前打合せ |
| 11月28日 市川工業高校 | ・工業高校総合技術 コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門 による競技 ・大会参加者 県内9校 170名 | 審査員 6名 他 1名 | 9/25 事前打合せ 10/21 事前打合せ |



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

長谷川 由喜枝



当委員会は全11名で活動を行っております。

県との合同震災訓練も年々スムーズに遂行出来るようになりました。近年、世界各地では様々な感染症が発生しております。日本列島では、3・11での東日本大震災以来、各地で火山活動がみられ、長野県の本栖御嶽山の噴火や神奈川県箱根山の活動の活発化による入山規制もありましたが、箱根山の方は幸い終息に向かい、年始恒例の箱根駅伝も無事開催されました。同じ火山活動でも、「西之島新島」が大きくなる事を願いたいですね。

また、集中豪雨による茨城県常総市地区の鬼怒川氾濫など、甚大な被害で完全に立ち直るまでかなりの時間を要しそうです。以前はフィクションでしかなかった世界が非常に現実味を帯びて感じられます。

次の世代のためにも思考深く冷静に行動する時が来ているように思われます。渉外活動としましては地区別会員交流会のご意見等を反映して、県本庁各部課を始め、各出先機関に対して当協会の優先的な指名を積極的に頂けるよう御願しております。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

| 開催日時、場所 | 内容 | 出席者・対象等 | 備考 |
|---------------|----------------------|----------------------|------|
| 平成27年 9月1日 | 千葉県県土整備部との 合同震災訓練 | 全会員 107社 本部 15名参集 | 県内全域 |

②県出先機関防災説明

| 実施日 | 内容 | 出席者・対象者 | 訪問先 |
|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|----------------|
| 平成27年 5月12日～ 5月20日 | 災害応急対策組織及び災害 応急業務について | 地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長 事務所隊長 | 県出先機関 21事務所 |

③その他災害応急対策に係る事業

| 開催日時、場所 | 内容 | 出席者・対象等 | 備考 |
|-----------------------------|---------------------------------------|---------|----------------------------------|
| 平成27年 7月23日 オークラ千葉ホテル | 防災説明会 「AED操作等説明」 「災害協定に係る協会の役割」 | 会員 78名 | 講師 千葉市消防局 中央消防署 説明 防災・渉外委員 |

| | | | |
|-------|---|-------|--------|
| 9月～3月 | 災害応急対策に係る緊急 通行車両調査・申請手続き 及び災害優先電話案内 | 全会員対象 | 県担当課報告 |
|-------|---|-------|--------|

(7) 公共工事発注機関への陳情・提言等事業

| 月 日 | 陳 情 先 | 陳 情 者 | 内 容 |
|---------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--|
| 平成27年 4月14日 | 県土整備部他 関係各機関 17課 公 社 2社 | 会長、副会長3名 理事1名、常務理事 | ・会員への優先発注 ・分離発注の積極的な 導入について |
| 5月12日～20日 | 県出先機関 21土木事務所 他 4市町村 | 地区担当理事 防災・渉外委員 地区防災隊長 事務所隊長 | ・会員への優先発注 ・分離発注の積極的な 導入について |
| 9月 8日 | 県土整備部 教育庁企画管理部 | 常任理事4名 理事1名 鎌形常務理事 | 県との意見交換 ・評価項目の公表について ・ISO認証取得の配点について ・工業高校の工事に対する優先 発注について ・指名競争入札における業者 選定、分離発注について |
| 10月 30日～ 11月 18日 | 県土整備部出先機関 16箇所 | 地区担当理事 防災・渉外委員 | 公共土木施設の電気工事発注 について |
| 11月13日 | 千葉県 | 五十嵐会長 鎌形常務理事 | 意見交換会 |
| 12月 1日 | 関東地方整備局 | 五十嵐会長 | 意見交換会 |

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。



7/23 防災研修会にて、消防局による AED 操作等の説明

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細 矢 充



新年明けましておめでとうございます。

平成 27 年度は、関係各位のご協力を賜り、経営に役立つ研修会をはじめ技術向上・資格取得・営業活動支援など年度計画通り実施することが出来ました。会員企業から数多く参加を頂き、各事業とも盛会で終えることができ、深く感謝申し上げます。技術・人材委員会では、会員各位の技術の研鑽、経営品質の向上、安全確保を目指し、委員会活動を進めてまいりました。

千葉県内の電設業界では、至近の課題としては、御多分に洩れず、技術者・労働力不足が叫ばれ、ますます深刻化しております。課題解決に向け、賛助会員の皆様と共に技術力の研鑽を積み、新技術・新商品等の研究調査を重ね、業務の効率化を図ることとともに造注活動を支援することが当委員会の役割であると認識しております。

引き続き、関係各位や会員の皆様からご支援ご鞭撻を頂き、よりお役に立てる『技術・人材委員会』を目指してまいります。本年も何卒、宜しくお願いします。

(3)講習会事業

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 結果等 |
|-------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------------|
| 平成27年 4月 10日 17日 24日 | 1級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会 | 受講生 会 員 6名 非会員 8名 講 師 6名 (ポリテクカレッジ等) | 筆記試験合格率 全国 45.1 % 協会 35.7 % |
| 9月 4日 11日 18日 | 2級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会 | 受講生 会 員 11名 非会員 1名 講 師 6名 (ポリテクカレッジ等) | 試験合格率 ※2月発表のため、 未確認 |

(4)事故防止事業

①安全研修

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|--|---------|
| 平成27年 7月23日 オークラ千葉ホテル | 安全研修会 「災害を防ぐには～宇宙エレベーターに学ぶ安全」 講 師 (株)関電工 吉田 昭之 氏 | 会 員 78名 |

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|---------------------|-------------|---|
| 11月26日 PENTHOUSE | 賛助会員との情報交換会 | 賛助会員 9社13名 協会出席者 役 員 7名 委 員 4名 |

(8)人材の確保及び育成事業

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-----------------------------|---|--------------------|
| 平成26年 9月16日 オークラ千葉ホテル | 経営講習会 テーマ「人手不足時代を生き残るための対応と 対策～人材確保の具体策とは」 講 師 (株)建設経営サービス提携アドバイザー 関口 清 氏 | 会 員 24名 |
| 11月26日 オークラ千葉ホテル | 技術研修会 ・「IT ツールで業務の効率化を」 パナソニック(株)エコソリューションズ社 ・「国際化に向けセキュリティ強化の提案」 アイホン(株) ・「チャンス！改正フロン法から事業拡大へ」 新明電材(株)／ダイキン HVAC ソリューション東京(株) ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年改正 から学ぶ耐震施工」 (株)扇港電機／ネグロス電工(株) ・「営繕電気設備工事の積算について」 千葉県県土整備部営繕課 | 会 員 46名 賛助会員21名 |



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より、平成27年度の委員会報告をさせていただきます。

例年、工業高校等との情報交換会を開催しておりましたが、今年度は、当委員会の委員がそれぞれ実際に工業高校等を訪問し、先生方と情報交換をするという形を取らせていただきました。

先生方との話の中で、生徒の就職先等を尋ねたところ、生徒達は地元企業への就職意識がとても高いと知る事が出来、電気工事業界・協会会員企業への就職率を上げるには、インターンシップの受け入れは必ず行った方がいいと感じました。

8月には千葉県に於いて、第9回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテストが開催され、千葉県電業協会と千葉県電気工事工業組合様とのタイアップで審査員を務めました。今回は残念ながら入賞には至りませんでした。千葉県代表で出場した選手の方々は、休日返上で練習に励み高い意識でコンテストに出場しているのだと感じ入ったくらい、とても素晴らしい出来だと思えました。今後も総務・企画委員会の活動に引き続きご協力をお願い致しまして、委員会報告とさせていただきます。

本年も宜しくお願い致します。

就労支援事業

| 開催日時、場所 | 内 容 |
|---------------|-------------------------------------|
| 2月 5日 千葉工業高校 | 出前授業 |
| 2月25日 市川工業高校 | 出前授業 |
| 5月11日 全会員向け | 人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等) |
| 6月中 県内工業高校等9校 | 人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての調査 |

広報関係

| 開催日時、場所 | 内 容 |
|---------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1、2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局 |

電気工事コンテスト兼高校生ものづくりコンテストの 審査員を経験してみた



浦安電設（株）

檀ノ原潤



平成27年8月29日（土）に、関東地区の各都県地区大会を勝ち抜いた工業高校から代表が集まり、その技術を競う「第14回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト千葉大会兼第15回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」が、今年度の開催地である千葉県の高度職業能力開発促進センター（高度ポリテクセンター）にて、行われました。

本大会は「電気系学科の生徒を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図る。」ことを目的として実施されています。大会優勝者は関東ブロック代表として高校生ものづくりコンテスト全国大会の出場権を得ることができ、また、出場者のうち3年生を除く上位者2名が来年の「若年者ものづくり競技大会」に推薦されることになっています。

審査は完成品だけではなく、競技中の作業態度・整頓状況・不安全行動などもその項目に含まれるので、競技が始まると、一時も目が離せませんでした。私自身も、今年初めて審査員を引き受けたので、内心ドキドキしながらも公正に審査するよう努めました。

2時間の競技が終了すると、今度は完成品の審査が始まり、完成品が課題通りに点灯・取付け・接続されているか、また、後片付け・清掃の状況等の項目を減点方式で採点していきました。残念ながら未完成や誤結線となってしまった選手もいましたが、どの選手も手際や出来栄がよく、大変感心しました。近い将来、この選手達が一人でも多く、私たちの業界で活躍してくれることを願ってやみません。

今回、審査員という貴重な経験を通して、若い力の頑張りに私自身も初心を思い出すことが出来、感謝しております。



コンテスト中の審査風景、皆真剣です！

バイクに乗ってきた自分を振り返って



(株) 後藤電設

代表取締役社長 後藤 芳



あまり文章が得意ではないのですが、趣味でもなんでも良いということなので、ツーリング旅行について書こうと思っていました。しかし、2カ月ほど前に交通事故に遭い、あまり良いことが思い浮かばず、それならば今までバイクに乗って体験してきたことを書かせてもらいます。

バイクに乗るきっかけは、兄の影響でした。兄がバイク仲間と一緒にいる姿を見て憧れた覚えがあります。そして、兄のバイクを譲ってもらい、私のバイク歴は18歳から始まりました。初めてのバイクは、50ccだったので行動範囲が多少広がった程度でした。その後、250cc以上のバイクに乗るようになってからは県外まで行くようになり、一気に行動範囲が広がりました。ソロツーリングが好きで、行った先で初対面の人と意気投合し仲間に入れてもらった楽しい思い出もあります。でも、仲良くなったのは男性ばかりで女性はいなかったですね・・・残念。

行動範囲が広がると、それに伴い危険や事故に遭遇する確率も高くなり、乗るたびにヒヤッとすることが多々あります。街中を走行中、主に夕方からですが、自動車が幹線道路から路地へ右折、または、路地から幹線道路に出てくる時にバイクとの距離を見誤ったり、ひどいときは全くバイクの方を見ていないことや車線の多い道路などでは、バイクの走行に気づかず車線変更をしてくることもありました。私思うに、バイクのライトが自動車よりも高い位置にあり、実際の距離より遠くに感じられること、そして、自動車より近づいてくるスピードが思っている以上に速いことが原因の一つなのではないかと思います。バイクは車体が小さいので、難点は死角に入りやすいことです。私から自動車のドライバーに言いたいのは、バイクが走って来た時には「自分が行ける！」ではなく、「先にバイクを行かせてあげよう！」と思ってもらえると接触事故が減らせるのではと思います。もちろん、バイクに乗っている側としては、「自動車が来るかもしれない！」と速度を緩める行為が出来れば、更に事故が減らせると思います。

2か月前に私自身が交通事故に遭ってしまった時の記憶は飛んでいて状況が分からないのですが、今まで20年バイクを運転していた経験があるのに、どうして事故を回避することが出来なかったのか悔やんでいます。これを機にバイクから少し距離を置こうかな・・・とも思います。しかし、バイクは季節を肌で直接感じられる楽しい乗り物です。バイクに乗っている初対面の人とでも簡単に打ち解けられるという良さもあります。乗ってみたいなあと思っている人は、是非実際にバイクに乗ってみてください。

最後にまとまりのない文章でしたが、バイクよりおすすめの面白いことがあれば、教えてください。新しいことにチャレンジしてみたいと思っています。

私のご近所自慢、アンデルセン公園



(株) 高橋電設

高橋 幸一郎



2015年7月28日付けの新聞に私が住んでいる船橋についてのある記事が大きく掲載された。

「口コミサイトで国内3位」 「信じられない」

世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の公表によると、2015年日本の人気テーマパークランキングで船橋アンデルセン公園が3位になったという記事である。

前回の10位から大幅にランクアップし、2015年アジアの人気テーマパークランキングでも10位に入っている。

アンデルセン公園は1987年、船橋市の市制施行50周年記念事業として開園され、1996年に「ワンパク王国」から「アンデルセン公園」へと改称された。総面積39ヘクタールの園内には、アスレチックや体験型施設、美術館などがある。そして、四季折々の花が咲いており、幅広い年齢層が楽しめるようになっている。

私は昨年、今年とアンデルセン公園で行われた船橋国際フェスティバルに船橋商工会議所の一員として、来園者の方へホンビノス貝汁の配布を無料で行った。

今年で23回目となるこのイベントは、毎年、午前・午後とも20分ほどで配布終了してしまうほど大人気である。そのほか、世界各国の文化や食べ物、飲み物も味わえ、毎年大勢の来場者で賑わっている。

私の自宅から15分ほどで行ける素敵なアミューズメントパーク、アンデルセン公園。

これからも日本全国から多くの方々に来ていただき、楽しんでもらえたらいいなと思っている。



中小企業でのインターンシップ



共立電設株式会社



植 草 宏 介

昨今、我々電気工事業そして建設業全体で若年技術者の不足が懸念され議論されています。千葉県電業協会でも出前授業や技術コンクール審査員など工業高校と連携を取り活動をしてはいますが、やはり受入れ先企業が体制を整える必要があります。

特に雇用ミスマッチングを防ぐ為のインターンシップや入社後の教育など様々ありますが、大手企業と違い準備や教育する側の人材に余力も無いのが現状では無いでしょうか？

これらを業界全体でサポートし進める事により可能では無いか？と考えインターンシップで千葉工業高等学校および市川工業高等学校より学生を迎えるにあたり、通常行っていたインターンシップに加え、新たに下記を取り入れる事としました。

- ・全国設備業 IT 推進会（当会も会員）に講師を依頼し、学生および社員合同の研修会（オリンパスによる工事写真の撮り方・システム・カシマによる JWCAD 初心者教育）
- ・材料販売会社の工場視察および電材研修

（因幡電機産業の物流倉庫見学・ケーブル切出しや材料タブレット管理など）

そのほか、電気工事現場見学や事務所倉庫での材料組立、社会人マナー研修やKYなどの安全研修、積算研修などを行いました。

自社だけでは、教えられない業界の魅力や社員と合同で行う事により社会へ出てからも勉強の必要性など様々な魅力を伝えられたのでは無いかと思います。



社員研修と学生合同で行う事により、「社員の若者への意識改革」や「学生の社会人への興味」など効果がありました。またメーカーに行き頂くことにより準備やパソコン用意等かなりの省力化となりました。



電材の出荷状況やケーブルの切出し等を見学そのほか、電材流通の仕組みなども講演頂きました。

名刺交換などの社会人研修や建設業安全教育などを実施し、現場見学へ現場監督より電気工事のイロハを指導！

